

上 A

平成 22 年（2010 年）度

上級技術者資格審査 筆記試験問題 A

〔共通問題〕

〔注意事項〕

1. この試験問題は**共通問題**です。全部で 1 ページあります。
2. 共通問題は受験申込時に選択した資格分野（主分野・副分野）に拘らず共通です。
3. 解答用紙の所定欄に受験番号と問題番号（**A-1**）を明記し、指定の字数内で解答を作成して下さい。なお、解答用紙は 1 枚につき、表裏で合計 1000 字詰めです。
4. 試験係員の「始め」の合図があるまで、試験問題の内容を見てはいけません。
5. 「始め」の合図があったら、ただちに印刷の不鮮明なところがないことを確かめて下さい。印刷の不鮮明なものは取り替えますから手を挙げて申し出て下さい。
6. 試験問題の内容についての質問にはお答えいたしません。
7. 解答の作成には鉛筆（**HB** または **B**）を用いて下さい。
8. この試験の解答時間は「始め」の合図があってから正味 1 時間 30 分です。
9. 試験時間中に途中退室はできません。
10. 「終り」の合図があったら、ただちに解答の作成をやめて下さい。
11. 解答用紙は必ず提出して下さい。
12. 試験問題は持ち帰って下さい。

次の問題について、「解答用紙」に 1000 字以上 2000 字以内で解答しなさい。

(解答用紙 2 枚以内にまとめなさい。)

A-1	<p>あなたが土木技術者としての業務を行ってきた際に、自らが経験した、あるいは見聞した、技術者倫理に反すると思われる事例を 1 つ挙げ、以下の設問に答えなさい。</p> <p>ただし、倫理的に問題となった事例に限定することなく、技術者としての倫理に恥じない行動をとったために、問題が回避できた事例を挙げてもよい。</p> <p>(1) その事例の概要を技術者倫理の観点から、300 字程度で述べなさい。</p> <p>(2) その事例においては、倫理的課題はどのように解決すべきであったか。あるいは倫理的課題を解決するためにはどのような問題があったかについて述べなさい。</p> <p>(3) 今後、同様の事例に直面した場合に、リーダーの立場から若手技術者にどのような助言を与えたらよいか、あなたの考えを述べなさい。</p>
-----	--